

授業科目名称 : 観光史

授業コード : 34602

授業科目英文名称 : Tourism History

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1	2	必修	
担当教員				
※板垣 朝之（実務経験のある教員）				
展開方法	講義			
ナンバリング	CA117			
添付ファイル				
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標		評価手段・方法	評価比率
専門力	観光の歴史および現状の観光の動きを、歴史的な背景を基礎とした知識をもとに説明することができる		・ 期末課題 ・ 小レポート	20% 25%
情報収集、分析力	授業で得た知識から、観光業の現状を歴史的に分析することができる		・ 期末課題 ・ 小レポート	10% 10%
コミュニケーション力	観光の歴史や観光業を自分の考えをもって議論することができる		・ 授業参画度	5%
協働・課題解決力				
多様性理解力	観光の視点から、現代社会が抱えている問題を分析し、自身の観光に対する意見を観光史の中で位置づけることができる。		・ 期末課題 ・ 小レポート ・ 授業参画度	10% 15% 5%
出席			受験要件	
合計			100%	

授業のねらい	現代成長産業の一角を担うまでに成長した観光業、同時にコロナ禍やウクライナ戦争によってその将来に危機感を持たれている観光業、そのいずれもが観光業の側面であるが、現状を俯瞰すると今後の日本の基幹産業としての観光業成長への期待が、極めて大きなものであることが改めて認識される。本講義では観光の概念を再確認すると同時に、古代から始まり、19～20世紀における基礎的發展期から今世紀に至る観光の歴史的動きを学び、そこから産業としての観光業の今後への理解を深めることを目的とする。		
アクティブラーニングの類型	②③⑩		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明	毎週の授業後レスポンスに授業へのコメント等を記入し提出し、全15週の内2回分を小レポートとして全体の50%評価とする。期末課題は観光史の授業内容を踏まえた自身の考えをまとめる目的で実施し40%評価とする。観光の歴史やこれからの観光業に関し、常に興味、関心を持って授業に臨む事を参画度として10%評価し、これらを総合的に評価する。課題レポートのフィードバックは適宜ポートフォリオや授業時に行う。特に毎週の授業後のレスポンスへの質問・コメントの提出を重要視するので、授業に出席し欠かさずにレスポンスを提出してほしい。		
授業概要	授業はビジュアル資料等を使用し、観光と観光業の諸元を国内/海外/インバウンドという形態別に体系建てて歴史的に概説する。特に産業としての発展・展開期においては当時の歴史的動向等も踏まえて理解を深める。また観光業は交通業、宿泊業等多くの産業を包括的に取り込んだ産業であり、特に交通業等の歴史に関しても併せて理解を深める。担当教員の旅行業での経験等に基づく知見等も利用して、時間軸に沿った観光業の動きに関して広範な知識の習得と理解を目指す。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は180分とする。		
教科書・参考書・指定図書	教科書：特に定めない。 参考書：『観光概論』(株)JTB総合研究所		
授業外における学修及び学生に期待すること	歴史を学ぶことの重要な目的の一つは、その事実から学んだことを、現在の環境の中にどう教訓的に生かして行く事が出来るのかにあると考えられる。不確実性の時代である今日にあって、「過去は過ぎたことで参考にしない」ではなく「過去にこそ現代を生き抜く重大なヒントが隠されている」という発想に共感を持てるように意識して授業に望んでほしい。その為には歴史を学びつつ現代を正しく見つめる視点がより重要である。この授業を受講する際にはこの様な意識で望んでほしい。		
授業計画	回	テーマ	授業の内容
	1	オリエンテーション 観光とは何か	観光および観光業の歴史を学ぶ意義を考える
	2	世界における観光の歴史	世界における「観光史」の流れを考察する
予習・復習			
予：観光の歴史＝「観光史」を学ぶ意義とは何かを 考えておく 復：「観光史」を学ぶことの 意義の再確認			
予：観光の始まりについて 考える 復：観光の始まりの復習			

3	日本における観光の歴史①	日本における観光の始まりから近代までの流れを考察する	予：日本の観光の始まりから近代への展開について考える 復：日本の観光の始まりから近代への展開について復習
4	日本における観光の歴史②	江戸期から明治期の日本の観光の流れを考察する	予：江戸期から明治期の日本の歴史の流れを確認しておく 復：江戸期から明治期への日本の観光展開の流れの復習
5	日本における観光の歴史③	明治期の日本の観光の新たな動きを考察する	予：明治期の日本の観光の新たな展開のk農政を考えておく 復：明治期の日本の観光の展開の復習
6	日本における観光の歴史④	日本独特の旅行形態としての「団体旅行」と「修学旅行」の誕生と展開を考察する	予：「団体旅行」とは何かを考えておく 復：「団体旅行」内容の復習
7	日本の修学旅行の現状	修学旅行の現状はどのようなになっているのか、OBによる修学旅行の現状に関する特別授業（予定）	予：修学旅行の現状の問題点は何か考えておく 復：修学旅行の現状復習、先輩の話の内容の再確認
8	移動手段としての交通機関の変遷	移動手段として交通機関は歴史的にどのように発展してきたのかを考察する	予：移動手段としての交通機関について考えておく 復：交通手段の歴史復習
9	移動手段としての鉄道の変遷、国鉄/JRの発展と展開	国有鉄道としての役割、戦前の鉄道の展開を考察する	予：国有鉄道＝「国鉄」とは何だったのか考えておく 復：「国鉄」とJRの歴史的展開の復習
10	国鉄/JRの発展と展開② 新幹線の役割と現状	第二次世界大戦後の国鉄の展開、新幹線網の拡充と分割民営化への動きと歴史を考察する	予：自身の新幹線乗車体験を考えておく 復：新幹線網の拡充、西九州新幹線の展開復習
11	航空運送業界の歴史	戦後日本の民間航空業界発展の歴史を考察する	予：自身の航空機利用体験を確認しておく 復：日本の民間航空業界の歴史復習
12	戦後民間航空史の展開とLCCの登場	日本国内線の航空自由化への道のりと新しいビジネスモデルLCC登場を考察する	予：航空自由化とはどのような事なのかを確認しておく 復：航空自由化とLCC誕生の関係の歴史復習
13	海外渡航自由化、パッケージツアーの登場と海外旅行の大衆化	海外渡航自由化と海外旅行発展の歴史を俯瞰し、パッケージツアー誕生の背景を考察する	予：パッケージツアーとはどのようなものかを考えておく 復：パッケージツアー内容の復習
14	インバウンド観光の再編とその歴史	日本におけるインバウンド観光の始まりと歴史的展開を考察する	予：インバウンド観光とは何かを考えておく 復：インバウンド観光復習
15	コロナ禍以前のインバウンド観光の実態と今後の展開の考察、授業全体のまとめ	インバウンド旅行者3千万人への歩みとコロナ禍による挫折、その後の復興と今後の動きを展望する	予：インバウンド観光の増加理由を考えておく 復：コロナ禍後のインバウンド観光の現状の再確認